2025年6月13日（金）14：00～17：00

第２２回小児がん拠点病院連絡協議会
相談支援部会からの報告

国立成育医療研究センター　小児がん相談支援センター　鈴木　彩

小児がん拠点病院連絡協議会　相談支援部会　設置要領

（設置）

第１条　小児がん拠点病院で実施されている相談支援体制機能の強化と向上を図ることを目的とする。また地域単位での取り組みを支援するため、小児がん拠点病院連絡協議会の下部機関として、相談支援部会（以下「部会」という。）を設置する。

（検討事項）

第２条

部会は、次の各号に掲げる事項について、情報を共有・検討する。

一　地域単位、施設単位で行われている情報提供・相談支援の取り組みの現状把握と分析、情報共有に関すること

二　相談支援体制機能の強化と向上を果たす上で必要となる全国、地域単位の体制の整備

三　小児がん患者家族の支援に関連した施策・制度面の改善等を整理し、協議会を通じて発信できるような提言に向けた素案の作成

第２２回　小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：２０２５年6月２７日（金）１４：００ ～１７：００　オンライン開催

議事

１．　遺伝性腫瘍について

　国立成育医療研究センター　小児がんセンター　小児がんゲノム診療科　関口　昌央

２．　小児がん拠点病院相談支援部門の活動について

（１）　事前アンケートの報告

（２）　相談支援センターにおける取り組みの報告（２施設）　他施設や他団体との協働

３．各ブロックの活動計画について

４．意見交換会「相談支援センターからみた患者・家族の療養生活における課題の抽出」

事前アンケートの実施

【目的】次期の整備指針の改定やがん対策推進基本計画が小児がん患者・家族の療養生活等をより良いものになるよう、相談支援センターからみた患者・家族の療養生活における課題の抽出を行う。また相談件数のカウント方法について、再度確認を行う。

【対象】小児がん拠点病院において相談を担うがん相談支援センター等の相談員

【調査方法】Webアンケートフォームにより対象者に送付し、回答を得る

【回答期間】2025年5月19日（月）～2025年6月10日（火）

事前アンケート質問項目

以下について、ご意見をお聞かせください。

＜整備指針＞

- 小児がん連携病院等々役割分担及び連携を進め、生活する地域によらず患者のニーズに合った医療や支援を受けられるような環境を整備すること（Ｉの３（７））
- 長期フォローアップに関して・・・連携体制を整備すること（1の３（８））
- 地域ブロックにおける相談支援の充実のために、地域ブロック協議会において相談支援に携わる者の連携する場（相談支援部会等）を設け、研修や情報収集等を含め小児がん連携病院棟との連携体制を整備すること（Ｉの３（９））
- がん相談支援センターの業務について

＜基本計画＞

- 小児・AYA世代がん患者の在宅療養に関すること
- 長期フォローアップや移行期支援に関すること
- 小児・AYA世代がん患者の就労支援に関すること
- アピアランスケアに関すること
- 妊孕性温存療法に関すること

＜その他＞

- 上記のカテゴリーに当てはまらない内容はこちらにご記入ください。どのようなことでも構いません。

事前アンケート質問項目

＜相談件数のカウント＞

- 「相談記録のための基本形式」の導入状況

以下の項目に関してご存じかどうか教えてください

- 相談支援センターの相談件数とは、相談支接センターに所属している者が、相談支援センターの業務として、相談者に対応した件数である。
- 相談支援センターに問い合わせのあった相談をすべて対象とする。
- 相談者の件数をカウントする。
- 問い合わせには、1）患者本人、2）家族・親戚、3）友人・知人、4）一般市民、5）医療関係者等のいずれの場合も含まれる。
- 同日に同一相談者が、相談支援センターを複数利用した場合には、その度に1件とカウントする。
- 相談支援センターが相談を受けて、その対応のために、各部署や他機関等に問い合わせをする場合には、相談支援センターの相談件数のカウントに含まない。
- 窓口で相談員や事務担当者、ボランティア等が振り分け業務をしている場合については、カウントしない。
- その他、カウントで迷うことがあれば教えてください

第22回小児がん拠点病院連絡協議会　相談支援部会

2025年6月27日（金）14:00-17:00（予定）
オンライン開催

2025年度　小児がん相談員専門研修
ファシリテーターのお願い

小児がん相談員専門研修は９月6日（土）に東京・品川にて開催いたします。当日午後からの演習にお手伝いいただけるファシリテーターを募集いたします。当日は現地にお越しいただく必要があります。

＜条件＞

・これまでに小児がん相談員専門研修を受講していること

・小児がん拠点病院の相談支援センターの相談員であること

（以前に相談支援センターの業務に携わっており、現在も小児がん拠点病院に勤務している方は可）

相談支援体制　課題検討WGについて

- WGの目的：小児がんの子どもと家族の療養生活を支援するために必要な小児がん相談員の役割及び、よりよい体制づくりの課題について検討する

- 検討事項　：小児がん拠点病院等の整備指針などにおける小児がん相談員の役割および相談支援体制

- 活動回数　：2-3回／年

※ワーキンググループ結成の背景

　小児がん拠点病院は「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」に基づき、子どもと家族のニーズに見合った医療や支援、療養支援体制を提供することが求められている。またがん対策基本法（平成１８年法律第９８号）に基づき策定されている「がん対策推進基本計画」を推進するため、小児がん拠点病院の相談員として相談支援体制を検討していく必要がある。

　相談支援部会にてワーキンググループを設置し、部会としても継続的に課題に取り組み、必要に合わせて、次期の対策の見直しの際にも提案ができるよう、情報収集や整理、意見のとりまとめを行っていく。

2025年度 相談支援体制 課題検討ワーキンググループ

菱沼 美香	東北大学病院	診療技術部 ソーシャルワーク部門	ソーシャルワーカー
篠崎 咲子	埼玉県立小児医療センター	地域連携・相談支援センター	ソーシャルワーカー
大倉 貴和	神奈川県立こども医療センター	小児がん相談支援室	看護師
加藤 由香	静岡県立こども病院	がん相談支援センター	看護師
山田 佳織	名古屋大学医学部附属病院	地域連携・患者相談センター	ソーシャルワーカー
大濵 江美子	大阪市立総合医療センター	医療技術部	ソーシャルワーカー
副嶋 綾子	九州大学病院	医療管理課	看護師
鈴木 彩	国立成育医療研究センター	小児がん相談支援センター	ソーシャルワーカー

2025年度　小児がん相談員研修検討委員会

丸山　喬史	北海道大学病院	医療技術部
茂泉　星	東京都立小児総合医療センター	心理福祉科
前田　多見	三重大学医学部附属病院	医療支援課
石丸　鮎生	京都大学医学部附属病院	がん相談支援センター
中井　友理子	京都府立医科大学附属病院	がん相談支援センター
栗林　佑季	兵庫県立こども病院	看護部・がん相談支援センター
猪谷　茜	広島大学病院	小児科外来
片山　麻子	公益財団法人　がんの子どもを守る会	
菱ヶ江　恵子	山口県立大学　社会福祉学部	
髙橋　朋子	国立がん研究センター　がん対策研究所　がん情報提供部	
富澤　大輔	国立成育医療研究センター　小児がんセンター	
鈴木　彩	国立成育医療研究センター　医療連携・患者支援センター	